

全建発18～155号  
平成18年8月11日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会  
会長 鈴木 道雄



第518回建設技術講習会(河川行政の課題、都市・地域整備行政の課題)開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員8万余名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の技術水準の向上等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国づくり、少子化・高齢化等への対応、地域再生・都市再生の推進、環境対策、交通安全の確保、社会資本ストックの活用、事業の進め方、品質確保と発注者責任、技術開発など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、官公庁職員の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められております。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第518回建設技術講習会では、河川行政、都市・地域整備行政に共通する課題として、住民・NPOとの協働・パートナーシップの進め方、景観形成等について学ぶとともに、河川については、豪雨災害対策、水防法の改正、総合的な治水対策のあり方、良好な河川環境の保全・復元、河川管理等、都市・地域整備については、中心市街地の再生をはじめ、都市内交通問題、都市の再生・再構築、まちづくり、都市防災等の最新の施策や技術の状況と情報を得ることを目的としております。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 敬具

全建発第17～314号  
平成18年2月13日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会

研修委員長 佐藤 直良

(国土交通省 大臣官房 技術調査課長)



## 平成18年度建設技術講習会について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、今日、私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国づくり、少子化・高齢化等への対応、地域再生・都市再生の推進、環境対策、交通安全の確保、社会資本ストックの活用、事業の進め方、品質確保と発注者責任、技術開発など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、官公庁職員の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められており、このため職員研修の役割は従来にも増して重要と考えております。

社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成18年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会のご活用についてご検討いただければ幸いです。 敬具

# 地方協会長 殿

社団法人 全日本建設技術協会  
会 長 鈴 木 道 雄



## 第518回建設技術講習会(河川行政の課題、都市・地域整備行政の課題)開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成18年10月18日(水)～20日(金) 山梨県甲府市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、河川行政、都市・地域整備行政に共通する課題として、住民・NPOとの協働・パートナーシップの進め方、景観形成等について学ぶとともに、河川については、豪雨災害対策、水防法の改正、総合的な治水対策のあり方、良好な河川環境の保全・復元、河川管理等、都市・地域整備については、中心市街地の再生をはじめ、都市内交通問題、都市の再生・再構築、まちづくり、都市防災等の最新の施策や技術の状況と情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は、山梨県(予定)の共催、国土交通省・甲府市の後援のもと実施することとしています。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴 講 料：正会員・特別会員・賛助会員..... 9,800円〔うち昼食代1,600円(2日分)〕  
正会員(地元〔山梨県内〕)..... 3,000円〔 〃 〕  
非会員..... 14,800円〔 〃 〕  
正会員(地元)とは、開催地(山梨県)内に勤務の正会員  
聴講のみの参加は可能です

現場研修料：..... 7,500円〔うち昼食代1,200円〕  
現場研修のみの参加はできません

申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の(写)〕を添えて、期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。  
当日の講習会場でのお支払い並びに追加申し込みは受け付けできません。

申込書送付先：〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 昭栄赤坂ビル7F(ビル名7月より変更)  
(社)全日本建設技術協会 事業課 TEL 03(3585)4546 FAX 03(3586)6640

振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通預金口座 No.0311142  
口座名義：社団法人 全日本建設技術協会  
お振込の際必ず、お振込人名義の初めに、開催回数「518」をつけ加えて下さい。

申込締切日：平成18年9月29日(金)必着(お申込みが締切日以降に到着したものは受理できない場合があります。)

取り消し・返金について

申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

### 【返金方法】

平成18年10月6日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成18年10月13日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金できません

テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しします。

事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

この講習会は、(社)全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度(CPDS)」に認定された講習会です。(CPDS登録希望者及び受講認定を必要とする方には、会場で学習履歴登録手続きについてご案内します。)

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

## 第518回建設技術講習会 日程

(河川行政の課題、都市・地域整備行政の課題 ~安全で快適な暮らしの実現と地域活力の向上に向けて~)

- 河川行政、都市・地域整備行政に共通する課題として、住民・NPOとの協働・パートナーシップの進め方、景観形成等について学ぶとともに、河川については、豪雨災害対策、水防法の改正、総合的な治水対策のあり方、良好な河川環境の保全・復元、河川管理等、都市・地域整備については、中心市街地の再生をはじめ、都市内交通問題、都市の再生・再構築、まちづくり、都市防災等の最新の施策や技術の状況と情報を得る -

会場 …… 【合同/(2日目)河川】山梨県立県民文化ホール 大ホール  
 【(2日目)都市・地域整備】 " " 小ホール  
 〒400-0033 甲府市寿町 26-1 TEL 055-228-9131

### 1日目 平成18年10月18日(水)【合同】大ホール (敬称略)

10:00	あいさつ	山梨県知事	山本 栄彦
10:20	"	甲府市長	宮島 雅展
10:20	国土整備の価値構造 ~合意形成と空間の履歴~	東京工業大学大学院社会理工学研究科 価値システム専攻 教授	桑子 敏雄
11:50			
13:00	景観創出のためのデザイン体制	政策研究大学院大学 教授	篠原 修
14:30			
14:40	【特別講演】 武田三代の領国経営	山梨県教育委員会県史編さん室 主査 山梨大学講師	平山 優
15:40			
15:50	【地域事業の紹介】 中部横断自動車道事業概要	中日本高速道路株式会社横浜支社 上野原工事事務所長	大野 滋也
16:20			
16:20	【地域事業の紹介】 五明川河川改修事業	山梨県土木部中北建設事務所 河川砂防管理課 主任	望月 わたる 弥
16:50			

### 2日目 10月19日(木)【河川部門】大ホール (敬称略)

9:40	わかりやすい河川情報の提供 ~洪水等に関する防災情報体系~	国土交通省河川局河川計画課 河川情報対策室 課長補佐	齋藤 博之
10:40			
10:50	河川管理の目的、実施内容と今後の方向性	国土交通省河川局治水課 課長補佐	山下 功
11:50			
13:00	生きものにとって川づくりの良否 ~低水路計画と新しい魚道~	淡水魚類研究者	君塚 芳輝
14:00			
14:10	良好な河川環境の保全と復元	国土交通省河川局河川環境課 課長補佐	原田 昌直
15:10			
15:10	閉会のあいさつ	山梨県建設技術協会長 (山梨県土木部技監)	小野 忠
	地域の独自調査		

### 2日目 10月19日(木)【都市・地域整備部門】小ホール (敬称略)

9:40	都市再生とまちづくり交付金	国土交通省都市・地域整備局まちづくり 推進課都市総合事業推進室 企画専門官	加古 貴一郎
10:40			
10:50	景観法の施行について	国土交通省都市・地域整備局都市計画課 景観室 課長補佐	舟久保 敏
11:50			
13:00	まちづくり三法の改正について	国土交通省都市・地域整備局都市計画課 課長補佐	東 智徳
14:00			
14:10	コンパクトシティの実現 : 徒歩による移動性を重視し、様々な機能が比較的 小さなエリアに高密度に詰まっている都市形態のこと	青森市都市整備部長	脇坂 隆一
15:10			
15:10	閉会のあいさつ	甲府市建設技術協会長 (甲府市都市建設部長)	矢崎 俊秀
	地域の独自調査		

### 【現場研修】 3日目 10月20日(金)

舞鶴城公園〔第一駐車場〕(8:30)出発  
 中部横断自動車道〔下車説明〕 五明川河川改修事業〔下車説明〕  
 医大南部土地区画整理事業・新山梨環状道路〔下車説明〕 昼食(笛吹市内)  
 山梨県笛吹川フルーツ公園整備事業〔下車説明〕 JR山梨市駅(15:10)着後解散  
 JR甲府駅(16:10)着後解散

上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。  
 講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

## 第 5 1 8 回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1 中部横断自動車道 ..... 山梨県南巨摩郡増穂町大柵

「中部横断自動車道」は、日本列島の中央部において、静岡県、山梨県、長野県の3県を南北に結び、上信越自動車道、中央自動車道、東名高速道路及び現在建設中の第二東名高速道路と相互に連結する高速自動車道です。

当自動車道は、静岡県静岡市清水と長野県佐久市を結び延長約 136km の自動車専用道路で、清水側では第二東名高速道路に連結する吉原 JCT (仮称) が、また山梨県内においては双葉町から増穂町にかけての区間で順調に工事が進められています。



### 2 五明川河川改修事業 ..... 山梨県南アルプス市東南湖

五明川は、坪川と滝沢川に挟まれた内水地帯を流下して、富士川に注ぐ全長 2.1km、流域面積 5.8km<sup>2</sup> の一級河川である。当地域はこれまでたびたび浸水被害を受けており、特に昭和 57、58 年、平成 12 年には大きな浸水被害を受けている。また、当地域には中部横断自動車道増穂インターチェンジが建設中であり、国道 52 号バイパス等交通網の整備が進んでいることから、工業団地や流通団地の整備及び流域沿線の都市化が進展している。このような状況をふまえ、五明川改修事業は指定区間(山梨県管理)と合流支川である横川の直轄(国)管理区間との調整をおこない、平成 19 年度完了を目標に事業を推進している。現在は合流河川である直轄施工区間完了予定時期(平成 18 年度)にあわせて坪川を横断する五明川伏越工を施工中である。



### 3 医大南部土地区画整理事業・新山梨環状道路 ..... 山梨県中央市下河東地内他

本地区は、地区の中心部を東西に横断する地域高規格道路新山梨環状線の事業化に伴い、無秩序な開発を抑制し強まる市街化を適正に誘導するために、土地区画整理事業を実施しています。

また、新山梨環状道路は甲府都市圏をぐるりと取り囲む全長約 41km の地域高規格道路です。車線は 4 車線以上で、主要な道路との交差は立体交差とし走行サービス水準の高い地域高規格道路として整備を進めています。東・西・南・北の 4 つの区間に分け整備を進めています。



### 4 山梨県笛吹川フルーツ園整備事業 ..... 山梨県山梨市江曾原

山梨県の都市公園整備は、都市の緑の中核として、活力ある長寿・福祉社会の形成、都市のうおい創出に資するとともに、自然とのふれあい、コミュニティの形成、広域レクリエーション活動等国民の多様なニーズに対応する国民生活に密着した都市の根幹的施設として整備しています。

笛吹川フルーツ公園は、フルーツミュージアムを中心に、数多くの果樹と花が栽培されており、公園全体が果樹の博物館となっています。また公園から一望できる甲府盆地の夜景が新日本三大夜景に選出されるなど、眺望も魅力的な公園です。



## 第 518 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

**宿泊料金**：宿泊希望者には甲府市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。  
**宿泊予約申込**：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。  
**宿泊予約金**：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。  
**送金先**：西鉄旅行㈱ 東京営業本部日本橋支店 TEL 03(3272)2411 FAX 03(3272)3169  
 銀行口座 三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 普通預金口座 1015114  
 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-5-14（都民興業日本橋ビル6F）  
 お振込の際は、お振込人の名義の前に開催回数「518」を付け加えて下さい。  
**問い合わせ先**：西鉄旅行㈱ 東京営業本部日本橋支店 TEL 03(3272)2411 FAX 03(3272)3169  
 「全建担当デスク」迄  
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

### 取り消し・返金について

平成 18 年 10 月 6 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成 18 年 10 月 13 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

### 斡旋する宿舎名、宿泊料

平成 18 年 10 月 17 日(火), 18 日(水), 19 日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	甲府ワシントンホテルプラザ	甲府市中央4-3-5 TEL: 055-232-0410	シングル	100名	7,900円
B	サンパークホテル内藤	甲府市丸の内1-4-18 TEL: 055-233-7110		30名	6,600円
	センティアホテル内藤	甲府市相生2-3-16 TEL: 055-233-3011		30名	6,500円
宿泊斡旋人数合計				160名	

\* 宿舎が決定次第、西鉄旅行㈱より「宿泊案内」が送付されます。  
 また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

### 会場・宿舎案内図



**会場アクセス**  
 県民文化ホール  
 徒歩 2.5 分

**バス利用** 甲府駅南口バスターミナル5, 6番乗降場より山梨交通バス「貢川団地」「芦安」「社会福祉村」「大草經由  
 葦崎駅」「葦崎駅經由敷島営業所」行き「県民文化ホール」下車 約10分  
**タクシー利用** 甲府駅南口タクシー乗り場より約5分

2会場となりますので、聴講者別の欄はお間違えのないよう記入願います。

平成18年 月 日

社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 \_\_\_\_\_ 印  
(特別・賛助会員名)

第518回建設技術講習会(河川行政の課題、都市・地域整備行政の課題)申込書

<個人情報の取扱いについて>  
申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別				昼食不要 (×印)	現場 研修	宿泊予約日		
(フリガナ) 氏名 <small>(参加者が女性の場合は番号に 囲みして下さい)</small>	年齢		正会員		非会員				予約日にA・Bを 記入して下さい		
			河川	都市	河川	都市			10月 17日	18日	19日
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
聴講料							現場研修の 昼食は不要 の申し出は できません	宿泊予約金			
正会員・特別会員・賛助会員		名 × 9,800円 =			円	泊 × 4,000円					
" (昼食不要)		名 × 8,200円 =			円						
正会員(地元)		名 × 3,000円 =			円						
" (昼食不要)		名 × 1,400円 =			円						
正会員(地元)とは、開催地(山梨県)内に勤務の正会員											
非会員		名 × 14,800円 =			円						
" (昼食不要)		名 × 13,200円 =			円						
現場研修料		名 × 7,500円 =			円						
		計			円	計 円					
		全建に振込					西鉄旅行に振込				

[お申込み後の変更・取り消し・追加方法について]

お電話での受付はいたしません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です。全建FAX 03 - 3586 - 6640迄

[聴講時の昼食について]

昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。

[現場研修時の昼食について]

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。